



2023年4月14日

各位

会社名 スルガ銀行株式会社
代表者名 取締役社長 嵯峨 行介
(コード番号 8358 東証プライム)
問合せ先 執行役員 佐藤 富士夫
総合企画本部長
(TEL:03-3279-5536)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月9日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想及び期末の1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

2023年3月期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 86,000	百万円 11,000	百万円 9,000	円 銭 47.77
今回修正予想(B)	91,000	12,000	10,000	53.09
増減額(B-A)	5,000	1,000	1,000	
増減率(%)	5.8	9.1	11.1	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	92,072	10,596	7,960	34.72

2023年3月期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 77,000	百万円 10,000	百万円 8,500	円 銭 45.12
今回修正予想(B)	82,000	10,500	9,000	47.78
増減額(B-A)	5,000	500	500	
増減率(%)	6.5	5.0	5.9	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	83,658	10,093	7,854	34.26

2. 修正の理由

第4四半期(2023年1月1日～2023年3月31日)においては、2023年3月29日付で公表したとおり、「有価証券ポートフォリオの再構築」のため、含み損を抱えていたマルチアセットファンド・債券の売却等を進めたことで国債等債券損益における償還損・売却損計を約140億円計上見込みです。一方、実質与信費用は、組織的な交渉等を行う債務者のうち返済停止などに至ったケースが前回公表時の想定より少なかったこと等の理由により、前回公表予想比減少する見込みです。なお、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の計上において、取崩超過となる見込みであり、取崩超過額を貸倒引当金戻入益(臨時収益)に計上する予定です。

【ご参考】

2023年3月期個別業績予想

(単位:億円)

	今回修正予想	前回公表予想	増減額
経常収益	820	770	50
業務粗利益	430	450	△20
経費	365	370	△5
コア業務純益	235	225	10
業務純益	65	80	△15
経常利益	105	100	5
当期純利益	90	85	5

実質与信費用	△10	10	△20
--------	-----	----	-----

※2023年3月末の自己資本比率は13%程度、2023年3月期の「推進するビジネス領域」の新規ローン実行額は約2,300億円(買入金銭債権取得分を含む)、実質与信費用比率は-5bps程度の見込みです。

3. 配当予想の修正について

当社は、2023年3月期業績動向や資本の健全性、今後の財務状況等を総合的に勘案いたしました結果、2023年3月31日を基準日とする1株当たり期末配当予想について、普通配当を1株当たり9円に修正いたします。

2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の配当予想は、同期から始まる中期経営計画“Re: Start2025” Phase 2を踏まえ、2023年3月期決算短信において公表する予定です。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭	円 銭 6.00	円 銭 6.00
今回修正予想		9.00	9.00
当期実績	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	6.00	6.00

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上